

12月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

小型車両系建設機械講習の受講

トラクターショベル(右写真上)で堆肥や土を運んだり、ドラグショベル(右写真下)で苗を植えるための穴を掘ったりする作業の講習を受けた。

どちらも初めて乗る機械で最初は操作に戸惑ったが、練習を重ねるごとに感覚を覚え、スムーズに動かせるようになった。今後もうまく使いこなせるようになっていきたい。



仮剪定と枝の粉碎

剪定後の枝の処理の簡略化のために、先に仮剪定を行い、その枝をチップパーで粉碎処理をした。仮剪定は基本的に一定の長さで切り続けていけるが、樹冠を拡大するために伸ばしたい枝も混じっているので、情性で切ってしまうないように気をつけた。

チップパーの操作は何度も経験があるが、「故障防止のために使用前は毎回グリースを注入する」ことを改めて教わり、非常に勉強になった。



活動を行った感想など

冬は機械操作や力仕事が多くなり、さらに寒さで体を動かすのも硬くなるので怪我をしないように注意する。

今後の目標など

長梢剪定が始まった。昨年教わったやり方を覚えているか不安だったが、やり始めたらすぐ感覚を思い出し、昨年より迷わずに切ることができている。今後はさらに判断を正確に速くできるようになっていきたい

